

## ■ファナ地域での活動

2007年にファナ地域で活動を始めて、13年が経過しました。その間、クーデターが2回起き、国内の混乱は未だ解決されていません。ファナ地域では、国道の片側2車線化をはじめ、州都クリコロへと繋ぐ橋とアクセス道路の建設、ファナ市内の公営住宅の建設、国道沿いの土地分譲等の社会インフラが整い、ますますファナ地域の活性化が進みました。一方で、こうした開発や都市への薪炭供給の増加により、地域の里山へのダメージも加速しました。

サヘルの森は、里山の再生を促すために、住民の小さな林づくりのために苗木配布をしたり、荒廃した里山を回復させる試験などを行ってきました。5年前からは里山を再生する実践者の育成を始め、9カ村20名以上の実践者がそれぞれの村で再生活動をしています。今回は彼らにスポットを当て、里山再生の活動をご紹介します。

ポットは必ず外して植えてね。



苗木配布

ありがとう。

畑の境に木を植えて、並木にしたい。



小さな林作り

植えすぎて、大きくなったら切らなければならなくなった。気を付けるように。



研修

木の成長と共に、アリ塚も一緒に生長しました。



植生回復試験地

## 実践者の里山再生

研修を終えた村人は里山再生の実践者として、個々に所有（占有）する土地で活動を始めました。研修した年により、かなり木々が生長した者、手を付け始めてようやく育ち始めた者、それぞれですが、その活動の特徴的なものを紹介します。

### バーバ・ジャラさん(カソマブグー村)



一袋 500CFA  
(約 100 円)  
でどうだい？

街まで実を運んで  
くれて助かるわ。

台木のトモノはたくさん生えている。  
トモノ(ズィズィフィス改良種)の畑  
を2倍に拡大したんだ。



トモノの実を  
売ったお金で、  
井戸が掘れた。



### バルー・ジャラさん(カソマブグー村)



水条件の良いシー  
シラに、植林地を  
広げたんだ。



実践者の中では  
一番しっかりした  
苗畑だ。

地域苗畑からだけでなく、  
実践者からも苗木を買っ  
ています。



在来の有用樹を残して、  
早生樹のユーカリを同時  
に育ててます。



## ユースフ・マリコさん(ジェバ村)

外側に柵をしたら、アカシア・セネガルの生垣の生長がよくなりました。

学校運営委員会の責任者として、学校林の育成を行いました。

ユーカリももちろん育てています。

在来種のカイセドラの林を育てています。

## マミ・クリバリさん(ウェラクラ村)

乾期には灌水をしながら、ジャガイモなどの野菜を作っています。

フランス人の支援でアカシア・アルビダの育成もしています。

苗木はNGOのプロジェクトでも購入してくれます。

アラビアゴムを採るためにアカシア・セネガルを育てています。

## マドゥ・クリバリさん(ウェラクラ村)



モリンガは、葉っぱから根っ  
こまで捨てることなく、中国人  
が買ってくれるそうですよ。

収穫したトマトは、村で買い  
取られて、都市から来た車に  
積まれていきます。



カシューナッツは、  
加工工場が買い取っ  
てくれます。



カイセドラとアカシア・  
コレイが防風林として作  
物を守ってくれます。



## フセイニ・トンカラさん(ラジブグー村)



15 年前にバマコからこの村に  
入植しました。  
トラブルを避けるため、畑の境  
を明確にすることは大切です。

7 年経って、ユーカリ  
も材として使えるよう  
になりました。



ユーカリとアカバヤトロファ  
を畑の境界に植えました。



## シャカ・トラオレさん(マナコロ村)

植えたばかりですが、  
少しずつ育っています。



畑の周囲には生垣を育成  
したいです。



農業局を退職して、この村に入植しました。  
なかなかいい土地を分けてもらえません。



やせたこの土地も、客土  
や有機物を施して、土地  
を肥やしています。

## 里山再生実践の展開

これまで、研修での講師役である地域苗畑主と実践者との関係づくりを進めてきましたが、さらに、実践者間の交流も行って、人的なネットワーク作りも進めています。また、研修には参加できなかったが、こうした実践者の活動に興味を持ち、感化される住民も出始めているので、そうした人々も拾い上げながら、里山再生実践の輪を広げていきたいと考えています。

### 地域苗畑—実践者交流



いろいろな種類の苗木を作って、  
街の人に売っています。

### 実践者間交流



苗づくりに使う土は  
どうしているの？

水条件の良い土地で、水稻を  
育てています。トモノの改良  
種を接ぎ木していますが、う  
まくいきません。



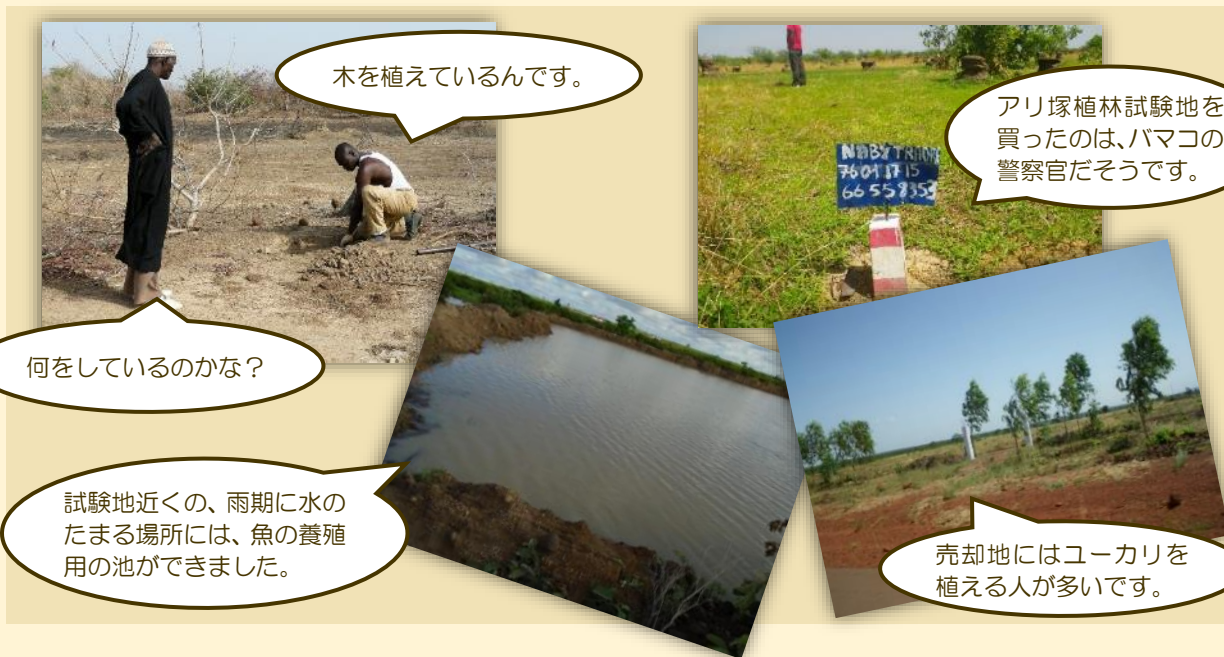
### 篤農家の拾い上げ

## 里山再生樹木図鑑

| 写真   | 和名、現地名（学名）/備考  | 写真  | 和名、現地名（学名）/備考   |
|--|--|---|---|
|  | ズィズィム、トシ ( <i>Ziziphus mauritiana.</i> )<br>在来種の台木に改良種を接ぎ木して生産する。実は商品価値が高い。      |  | トシガ ( <i>Moringa oleifera.</i> )<br>インド原産。葉、花、実などが食用となり、栄養価が高い。種から油も採れる。      |
|  | ユーカリ ( <i>Eucalyptus camaldulensis.</i> )<br>植林には定番の早生樹。森林資源の減少により、農村部でも用材として使用。 |  | カシューナッツ ( <i>Anacardium occidentale.</i> )<br>カシューナッツとしての種子だけでなく、実も食用となる。     |
|  | アカシア・セナル ( <i>Acacia senegal.</i> )<br>刺があるので、生垣として使用している。樹脂はアラビアゴムとして価値が高い。     |  | アカシア・コレイ ( <i>Acacia coleii.</i> )<br>オーストラリア原産。マリでは畑の脇に植え防風林とすることが多い。        |
|  | カセドゥ ( <i>Khaya senegalensis.</i> )<br>在来種。農村部ではまだ板材として使われている。                   |  | アカバヤトウ ( <i>Jatropha gossypifolia.</i> )<br>ジャマイカ原産。若葉の赤色が特徴で、観賞用や生垣として用いられる。 |
|  | アカシア・アルビダ、バランガン ( <i>Acacia albida.</i> )<br>マリ中部で畑に残されるマメ科樹木。実は家畜の精力剤として使用。     |  | チャンガラ ( <i>Combretum spp.</i> )<br>薪炭材として最適な在来種。伐採により種子の入手が困難となりつつある。         |

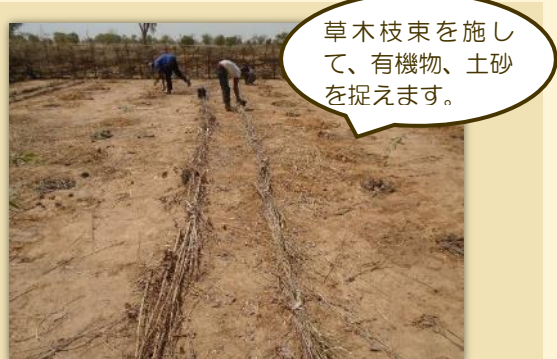
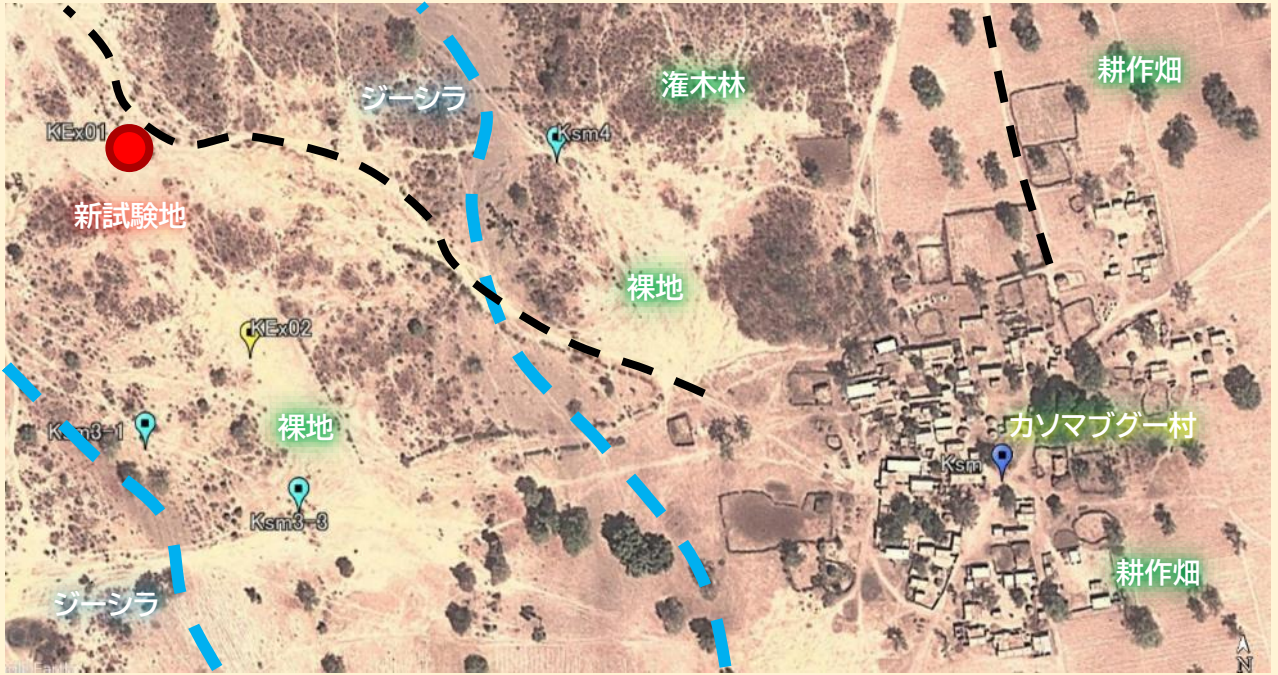
## 旧試験地と土地売買

2007年よりニヤマトブグー村の村長の許可を得て植生回復試験を行ってきましたが、地方分権化による財源確保のため土地の売買が進み、10年以上行ってきた試験地も例外に漏れず、使用できなくなりました。試験地は、木を植えることに興味のある村人との接点であったり、社会構造や仕組みを学んだり、植生回復の技術開発だけでなく貴重な学びの場でもありました。



## ■カソマブグー新試験地

旧試験地の使用不可により、2019年から幹線道路より内に入ったカソマブグー村の荒廃地に試験地を設け、植生回復の試験を始めました。この土地は以前耕作していたものの痩せて放棄された畑で、裸地化し草も生えない状態でした。まずは草木枝束などを施して、有機物や土砂を捕捉し、草本等の定着を図り、雨水の浸透を促します。さらに、有用樹の定植や在来有用樹の直播などを行い、森林資源の再生を行います。



## ファナの格上げ問題

ファナは、マリの大動脈ともいえる国道沿いの一地方都市です。行政的区分としても、圏（セルクル、Cercle）庁所在地のジョイラとは1段階下のカテゴリー（コミューン、Commune）を構成する一都市です。ですが、国道よりも奥まったところにあるジョイラよりも、国道沿いにあるファナのほうが発展してしまい、圏庁所在地に格上げする話も出ていたようです。

写真は、ファナの郊外に建てられた、マリ観光庁による旅行者へ向けたモニュメントですが、「ようこそ、ジョイラへ」の名前部分を黒く塗りつぶしてファナ（Fana）と書き足されています。ファナの発展に誇りを持つ人々の心を表しているかのようです。



## Information

### 募金・カンパにご協力下さい

日頃からサハルの森の活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

今年春からの新型コロナウイルスの感染拡大や8月のクーデターなど、日本人の派遣が難しい状態が続いています。

しかし、マリ人スタッフを初め、実践者や多くの協力者によって活動は続けられています。彼らの止まることのない活動に、ご支援いただけますよう、お願いいたします。

### 会員募集中

サハルの森に入会されますと、年数回、機関紙『サヘル』のほか、報告会等のお知らせが届きます。

一般会費 年 5,000円

維持会費 年 20,000円

サハラ砂漠南縁・サヘル地域での里山再生活動を継続的に支援いただくためにも、ぜひご入会下さい。

### 募金・入会のお申し込みは…

振込用紙に

- ①住所
- ②氏名
- ③電話番号
- ④送金内訳(会費、募金など)
- ⑤領収書の要不要

を明記の上、郵便振替で下記口座にお振込みください。

【郵便振替口座】

00170-6-115054

サハルの森

## 特定非営利活動法人 サハルの森

〒194-0013 東京都町田市原町田 1-2-3 アーベイン平本 403  
 TEL:042-721-1601(留守番対応) FAX:042-721-1704  
 ホームページ: <http://www.jca.apc.org/sahel-no-mori/>  
 E-mail: [sahel-no-mori@jca.apc.org](mailto:sahel-no-mori@jca.apc.org)

機関紙『サヘル』ファナ特集号

発行:2020年10月28日  
 発行人:坂場光雄  
 編集:榎本 肇